

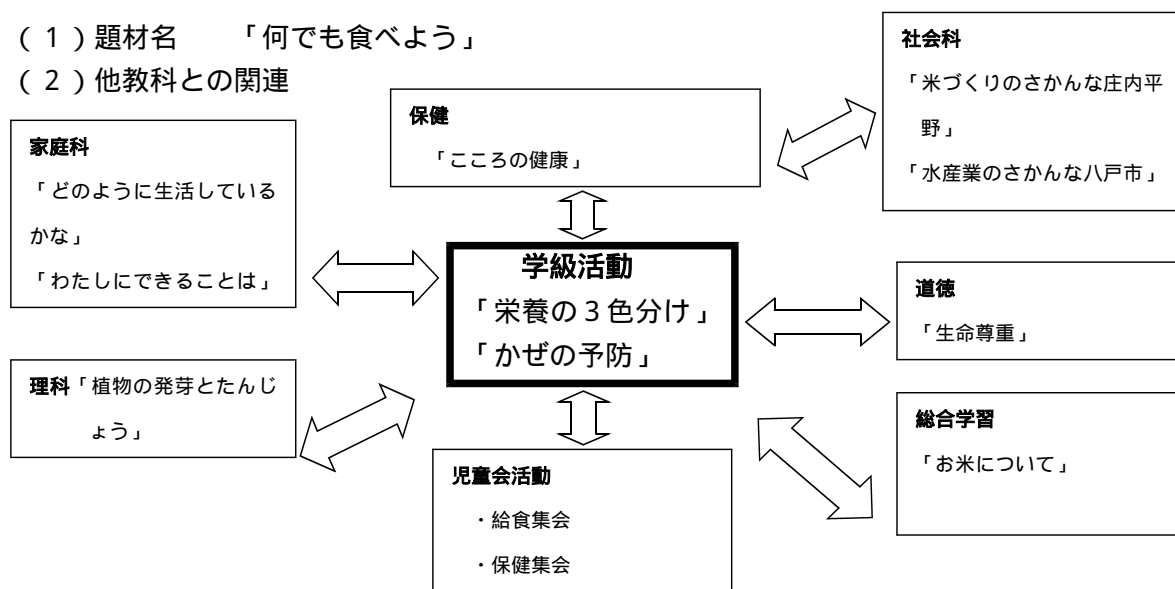
5年生 学級活動指導案

授業仮説

食べ物の働きについて話を聞いたり、自分の好き嫌いについてふり返ったりすることにより 康な体をつくるためには、何でもバランスよく食べる事が大切であるという考えを深める とができるであろう。

(1) 題材名 「何でも食べよう」

(2) 他教科との関連



(3) ねらい

食べ物の3つの働きを知り、体のためにどのように役立つかを理解することができる。

いろいろな食品を組み合わせる食べることが、丈夫な体を作るもとになることを理解することができる。

好き嫌いせず、何でも食べようとする意欲を高めることができる。

(4) 指導方針及び学習活動への支援

給食の献立の中にはたくさんの食品が含まれていることに気付かせ、なぜいろいろな食べ物が入っているのかを考えさせる。

食べ物が、体にとって大切な働きをすることを、絵などを使ってわかりやすく掲示し、好き嫌いをなく何でも食べる事が大切であることを理解させたい。

事前の食事調査をもとに、自分の食事状況・好き嫌い・健康状態を見つめさせる。

家庭との連携を図りつつ、無理のないよう配慮し楽しく給食を食べられるよう指導を進めたい。

(5) 準備 <教師> 模造紙(アンケートの結果)・食品・絵カード・ビデオ・学習プリント  
<児童> 筆記用具

(6) 展開

|        | 学 習 活 動  | 教 師 の 支 援  | 時間  | 評 価               |
|--------|--|--|-----|-------------------|
| 気<br>づ | <p><b>自分達の食生活の嗜好や様子に気付く。</b></p> <p>食事のアンケート結果を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好きな給食の献立</li> <li>嫌いな食べ物</li> <li>よく食べるおやつ等の結</li> </ul> | <p>アンケートの結果を発表し、授業に興味を持つよう働きかける。</p> <p>ある程度偏った食事に人気があることに気付かせる。</p> <p>だれが残しているかということ</p> | 10分 | 興味を持って授業に参加しているか。 |

